

未来型図書館の「いま」をお伝えします！

みんなで作る未来型図書館 ニュースレター vol.16

いよいよ、公会堂や博物館などの既存施設の解体が始まり、未来型図書館の立地場所である芦城公園の機能と景観は転換期を迎えます。市民のみなさんの思いを受け継ぎ、「小松の新時代の象徴」となるような未来型図書館を目指して着実に取り組みを進めます。

ありがとう、公会堂

6月1日（日）市役所庁舎前広場にて「ありがとう、公会堂」セレモニーが開催され、小松市青少年吹奏楽団による演奏と共に、市民の皆さんの感謝の気持ちが届けられました。

65年間の歴史と共に多くの思い出が刻まれた公会堂。この想いを大切に受け継ぎ、皆さんと共に小松の未来を創る取り組みを進めてまいります。



セレモニー集合写真

出張！リビングラボ

これまでの未来型図書館づくりや令和6年度に策定した「基本計画」では、リビングラボでの市民の皆さんとの対話や共に創るプロセスを大切に取り組みを進めてきました。

これらの内容について、より多くの皆さんに知っていただくため、令和7年5月から「出張リビングラボ」を開催しています。（お申込の詳細は市HPをご覧ください）

また、未来型図書館づくりをPRする動画の放映も市内各所で行っています！



出張！リビングラボ
in小松ロータリークラブ



PR動画の放映
@Komatsu九 ギャラリー

未来型図書館を支える次世代リーダー 人材育成について
の育成を目指し、第4期目となる「子ども司書養成講座」に続いて、「子ども学芸員養成講座」が新たにスタートします！
司書・学芸員それぞれの魅力が伝わるプログラムに楽しく実践的にチャレンジします！

【受講生募集中！】
子ども学芸員養成講座 7月31日まで
子ども司書養成講座 8月29日まで



みんなで作る未来型図書館

リレーエッセイ

第16回目は山本教育長です！

長きにわたり、小松市民の文化芸術の創造と交流、そして発信の場として親しまれてきた小松市公会堂が、「ありがとう、公会堂」のセレモニーをもって65年の歴史に幕を下ろしました。私にとっても、山口百恵さんのコンサートや、ロサンゼルス五輪柔道金メダリスト・山下泰裕氏の講演会に足を運んだ思い出深い場所であり、その閉館には感慨深いものがあります。

しかしながら、新たに誕生する「未来型図書館」には、大きな期待が寄せられます。そこには、世代や立場を超えた人々が自然に交わり、学び合い、つながる地域の交流拠点としての役割が求められています。子どもや学生、子育て世代、高齢者、外国人など、多様な市民が集い、活動できる場となることでしょう。

また、地域課題の共有や協働の場としての機能、さらには災害時の避難場所や情報拠点としての役割も期待されます。「未来型図書館」が、「知」を得る静謐な空間にとどまらず、「人と人」「人と地域」とを再び結び直す市民の拠点となることを、心より願っております。公会堂から未来型図書館へ、バトンタッチ！



山本 民夫 教育長

お知らせ

未来型図書館noteでは、様々なコラムを掲載中！
「子ども司書クラブ」や「図書館エディター」のメンバーもコラムの執筆に挑戦しています。ぜひご覧ください！(^_^)!

note インスタグラム 市HP

